





状態	学びのStage	自分でやる (必要な素養)	塾でやる	留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出会・認識                      &gt;単発の知識に触れる</li> </ul>	<p>Stage 1</p> 	<p>教科書などでの予習 (習慣)</p>	<p>授業での紹介・解説 (教授者の思考回路をたどる)</p>	<p>※[Stage1]では、 ○単語など単独知識を獲得するか、 ×その場しのぎで忘れ去ることになるか。</p> <p>※教授者の[授業]が熟練されて分かりやすいほど、学習者は分かったつもりになりやすく、[復習]に繋がりにくくなる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 理解→納得                      &gt;基本ルールを単立で確認する                      &gt;知識がつながる</li> </ul>	<p>Stage 2</p> 	<p>参考書や動画などでの学習 (習慣)</p>		<p>※[Stage2]では、 ○知識の繋がりで長期記憶に繋げるか、 ×分かったつもりで思考停止するか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調和→体得                      &gt;ルールの組み合わせ・使いこなす</li> </ul>	<p>Stage 3</p> 	<p>問題集などで繰り返し復習 (+間違いを受け入れる強さ)</p>	<p>質問への回答・解説 (学習者の思考回路をさぐる)</p>	<p>※1+2=3。 [Stage3]より先まで行ければ、記憶は忘れにくくなり成績も上がる。自信にも繋がるため、学習の好循環が回り始める。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 熟達                      &gt;難度の高い問題に対応できる</li> </ul>	<p>勉強できる人</p> <p>Stage 4</p> 	<p>問題の難度を上げて反復 (+挑戦心)</p>		<p>※[授業(塾)]をどの部分で使うのか、[自分]でどの部分を進めるのかを“自分で選択”する意識は大事。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 応用・援用                      &gt;学びを他のジャンルに活かす</li> </ul>	<p>人として賢い人</p> <p>Stage 5</p>	<p>他の分野・教科生活の中などでリンク・整理 (外への意識)</p>	<p>解説の中で不意に繋がりを紹介</p>	<p>※授業は[Stage2]のためだけに受けている意識だと[Stage5]に関わる雑談は意味がないと思われるかもしれない可能性も高い。</p> <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>※どの[Stage]でも、学習者の精神姿勢が非常に大きな影響を及ぼす。ポジティブに向かうほど成果は大きい。</p> </div>